

会員の皆様

ご無沙汰しております。

新型コロナウイルスは第2波を作り、猛威を振るっています。長く続いた梅雨があけ、心待ちにしていた夏になりましたが、例年より暑く感じます。

このような状況ではありますが、会員の皆様のご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

延期されていた北海道および高知での研修会は日程が決まり、また七回目となる関東研修会は、初めて茨城県で開催されます。学術集会も徐々に準備が進んでいます。

今回の∞メールへの投稿は聖明病院の土屋会生（つちやかずき）様からです。同院から、もうお一方とともに下総精神医療センターの現地研修を受講されました。

聖明病院でも条件反射制御法が活発に用いられるようになると思われま

平井慎二

### 下総精神医療センターでのCRCT現地研修を受けて

反復される問題行動の見方が変わった

医療法人十全会 聖明病院  
作業療法士 土屋会生

令和2年1月27日から1月31日まで、国立病院機構下総精神医療センターにおいて5日間の条件反射制御法現地研修に参加させていただきました。その直前、1月11日には大阪で行われた条件反射制御法関西研修会にも参加させていただきました。

私自身、お酒や薬物、万引きなどの問題行為に悩まれている方の治療には10年ほど従事しており、その中で、条件反射制御法（以下、CRCTとします。）という名称は何度か耳にしていました。その都度、「どのような方法なのか？」と、インターネット等で調べていましたが、研修を終えた今、当時もっていたイメージとは大きく変わったことを実感しております。

そもそもは、偽物を使って患者様が、お酒や薬物などに対し嫌悪感を抱かせるものだと考えていました。「なんだ、俺はこんなものにはまっていたのか」と、諦めさせるようなイメージと表現すれば伝わるでしょうか。C R C Tのお言葉を借りれば、第二信号系反射網の認識を変えるイメージのみであり、第一信号系に関しては、微塵も頭の中にはイメージしていませんでした。

そんな私にとっては、たとえ偽物でも使っていた時のような反応が生じることが一番の衝撃でした。「嘘だろ！偽物だよ！？」と実習中に思わず口に出そうになりました。

「使っていた時の快樂や欲求が出るなんて・・・ますます好きになってしまうんじゃないのか？」本心はこのように感じました。しかし、パブロフの進化論を軸に、第一信号系や第二信号系の話、疑似ステージにおける「失敗」の重要性を聞いて、実際に見て、理論に裏付けられた治療法なのだと強く感じました。

嫌いにさせるのではない。わざと成功しない行為を反復し、反射連鎖を抑制する。そのために、スタッフの方々は、あらゆる道具（マネキン、スーパーマーケットのような品物類、疑似注射器、お酒の瓶、パチンコ台・・・下総精神医療センターには数えきれない小道具がありました。）を用意し、限りなく状況を再現することに努めていることに、驚愕しました。

これまで、お酒や薬を繰り返すのは、一度、生じてしまえば治らない。だから治療が難しい。そう考えておりました。また、お恥ずかしい話ですが、神経回路が繰り返すようになってしまっているのだから、どうしようもない。それはそのまま、色々なアプローチをしようと考えていたのだから、なぜ繰り返すのか、根本に着目していなかった自分に気が付きました。

繰り返す原因、先天的反射や後天的反射とその機序を学ぶにつれて、なるほど！と強く感じました。「また再入院してきたよ・・・どうすりゃいいんだ」と悩んでいた昔の自分に対して、「C R C Tをやればいいんだ！」と答えが出て、スッキリした気分です。

C R C Tは、時間や回数など、方法がきちりとしています。最初は本を読み、話を聞いて「制約が多いのかな？」と感じましたが、現場の風景で感じたことは、職員も患者様も含め、やるべきこと、方法が明確で、治療方法にスキがないと強く感じました。臨床でのフィードバックに基づいて進化してきたC R C Tだけあって、流石！の一言に尽きます。

これから、当院でもC R C Tを実施していきます。下総精神医療センターでお会いし、研修にご協力いただいた患者様方が疑似ステージを繰り返すうちに、研修期間のわずか5日間で、まるで別人のように柔らかな、スッキリとした表情に変わったことも、印象深かったことの一つです。

問題行動を繰り返し悩まれている方の表情は、やはり暗い方が多く、「もうだめだ」と言わんばかりに、諦めきったような方も多くいると、10年、この業界で働いてきて感じています。

しかし、CRCTによって、回復できるという事、この事実はまさに希望なのではないかと感じています。

とにかく、一刻も早く準備して、CRCTを実践したい気持ちでいっぱいです。不適切な言葉なのかもしれませんが、研修を通し、実際に体験させていただいて、私はCRCTを「なんて楽しいんだ！」と感じました。医療従事者として楽しむ気持ちが強いのも、どうなのかとは思いますが、やはり、「CRCTで治るんだ！」という驚きと興奮が、強く心に残っています。

最後になりますが、平井先生をはじめ、研修にご協力くださった下総精神医療センターの皆様方、本当にありがとうございます。また、私もまだCRCTのスタートラインに立ったところだと考えています。今後とも、ご指導のほどよろしくお願ひします。CRCTが世界に広がるよう、私も微力ながら貢献できるよう、これから奮闘してまいります。

(2020年2月5日 寄稿)

## 事務局からのお知らせ

### CRCTを受けられる施設を公開しています

条件反射制御法を受けたい方に、どこにいけばこの技法が受けられるかを伝えるため、本学会のホームページで **CRCT 実施施設** を公開しています。

現時点で20施設が掲載されています。今後も増えていくはずですよ。

ご協力いただける方は事務局のメール、[crct.mugen@gmail.com](mailto:crct.mugen@gmail.com) 宛に下記項目をお送りください。

1. 貴施設名、所在地、電話番号、メールアドレス  
(施設写真の掲載希望がございましたら画像データを添付してください)
2. 申込窓口 (担当部署・担当者名等)
3. ホームページURL
4. CRCTを提供している場  
(例：入院病棟、外来、カウンセリングルーム、回復支援施設等)

5. 対象にしている疾病
6. コンタクト方法（例：電話、E-mail、HP申込フォーム）
7. 施設の特長（フリーコメント なんでもどうぞ）

### 条件反射制御法学会のご案内

- ・条件反射制御法学会第九回学会（主催：条件反射制御法学会）  
2020年 9月26日（土） オンライン開催（※Zoom）

※Zoom(ズーム)は無料で簡単に使える Web サービスです。

事前にアプリのインストールが必要です。

大会に向けて接続のテストを5回ほど実施予定です。練習会の案内は学会HP内「第九回学会」→「Zoomについて」をご確認ください。

### 条件反射制御法に関する研修会・実地研修等のご案内

参加募集中もしくは今後募集する研修会のご案内です。

新型コロナウイルス感染防止対策の観点から中止させていただく場合があります。

- ・第七回 条件反射制御法 北海道研修会（主催：条件反射制御法学会）  
2020年 8月29日（土） 会場：ほっとステーション（札幌市）  
初の試みとしてベーシックコース（入門者向け）とアドバンスコース（経験者向け）に分けて学んでいただきます。  
現地事務局 医療法人社団ほっとステーション
- ・第七回 条件反射制御法 関東研修会（主催：条件反射制御法学会）  
2020年 9月 5日（土） 会場：ホテル古保里（茨城県鹿嶋市）  
現地事務局 潮騒ジョブトレーニングセンター
- ・条件反射制御法実地研修（主催：下総精神医療センター）  
2020年11月16日（月）～11月20日（金）  
2020年12月 7日（月）～12月11日（金）  
2021年 1月25日（月）～ 1月29日（金）  
2021年 2月15日（月）～ 2月19日（金）

実施場所：下総精神医療センター

- ・第13回条件反射制御法研修会（主催：下総精神医療センター）  
2020年11月12日（木）から13日（金）まで  
会場：下総精神医療センター
- ・第五回条件反射制御法四国研修会（主催：条件反射制御法学会）  
2021年 1月22日（金） 会場：高知城ホール
- ・第14回条件反射制御法研修会（主催：下総精神医療センター）  
2021年 2月 4日（木）から 5日（金）まで  
会場：下総精神医療センター

### ∞メールへのご投稿

皆様からCRCTや信号系学説に関係する小論、CRCTを用いての治療体験あるいは回復した体験、実地研修の体験、他の学会で報告した感想、裁判でCRCTの効果が認められた体験等に関して1600字程度の報告をお待ちしております。学会事務局で選出して掲載いたします。

事務局のメール、[crct.mugen@gmail.com](mailto:crct.mugen@gmail.com) 宛にご投稿ください。

### 事務局メールアドレス変更のお知らせ

前回の∞メールでもお伝えしましたように、2020年6月に事務局のメールアドレスを変更しました。

◆新メールアドレス：[crct.mugen@gmail.com](mailto:crct.mugen@gmail.com)

以前のアドレスは不安定であり、メールの一部が届いていなかった可能性があります。お心当たりのある方は、お手数ですが事務局までご一報くださいますよう、お願いいたします。

発行

条件反射制御法学会事務局

〒162-0055 東京都新宿区余丁町14-4 NPO 法人アパリ内

<https://crct-mugen.jp> [crct.mugen@gmail.com](mailto:crct.mugen@gmail.com)

TEL:03-5925-8848 FAX:03-5925-8984